

## 文化発表会!(作文の続きです)

文化発表会での努力

B組 白鳥 成翔

文化発表会の2週間前、放課後の合唱練習が始まった。一番始めの練習で、私は去年の反省を活かして歌いたいと思い、まず誰よりも大きな声で歌うことを心がけようと思いながら歌い続けました。2日後の放課後の練習が終わり、いつものように、部活に出ようとしていたところ、教室からピアノの音が聞こえてきました。教室の扉をそっと開けると、そこには文化行事委員や指揮者の人々が、真剣に歌詞を聞きながら何かを書き込んでいる姿が見えました。次の日、文化行事委員から歌詞テストを行うと言われて私は「昨日これを作っていたんだ」と思い、私は想像以上にみんな頑張っていることを知り、私も放課後の練習が終わった後、家で歌ったり、歌詞に大切なところをメモしたりしていきました。

文化発表会1週間前、私は4階から素敵な楽器の音色が聞こえてきたり、部活中の隣でダンス部が踊っている姿を見て、さらに文化発表会がより楽しみになりました。そして、文化発表会当日、1年生の後輩が歌い、次は私たちの番、緊張していた時、横からメモ帳が回ってきました。そこには、文化行事委員と指揮者からのメッセージが書いてありました。それを見て私は、背中を押されました。そのおかげで、私は今までの練習の成果を出し切ることができました。そして歌っている最中はすごく楽しく一瞬で終わってしまいました。結果は2位だったけれどクラスの中が深まり良かったです。今回は、文化行事委員などの人々に感謝、そして、これからもクラスで一致団結して頑張っていきたいです。

達成感

C組 福島 由衣

私は、この学習コンクールを通して2つの達成感を得ることができました。1つ目は、クラスの団結力が強くなったことです。練習が始まってすぐは、声量、強弱、リズム

などがうまくいかず、バラバラで、本番までに完成させることができるのか不安でした。しかし、練習を重ねるとともに、クラスの団結力が増し、とても良い合唱になり、達成感を感じました。

2つ目は、自分が成長できたことです。最初の頃は、間違えることや、1人だけ大きな声を出すのが嫌で、100%の力で練習することができませんでした。しかし、歌詞やリズムを覚えることで、間違えることへの恐怖心が薄れてきました。また、周りの人の声も大きくなっていったことで、100%の力で練習することができて、自分が成長できたと感じました。今回の合唱コンクールで賞を獲得することはできませんでした。が、クラスのみならず、団結し合唱を作り上げたことは、とても良い経験になりました。

変わったタイミング

D組 坊野 克洋

9月末、合唱練習が始まった。生徒会に入った人間とはいえ、人前に入るのは慣れではなかった。しかし文化行事委員になったからには頑張って金賞を獲りたいと思っていた。でも、すぐに諦めてしまった。なぜなら、音楽関係のことをしたことはないし、詳しくもなかったからだ。その状態のまま他の人に頼りっぱなしで日が流れた。学年リハーサルも終わり、各クラスで焦りが生まれる中、まだ変わってはいなかった。10月、ラストパートをかけていたが、自分はほとんど何も言わず、見回りをするだけ、そんな時、クラスのもう一人の文化行事委員の人の喉が壊れてしまった。結局、何もしていない自分に先生から指導が入った。でもその後考え直してみることにした。先生は「ただの」指導をしたのではない、と。たくさんの方の思いが詰まっていたものをぶつけ、変わるチャンスくれたのだと思った。それから、気合を入れて、「どうすれば楽しく終わることができるのか」を考え行動した。相方とも言える存在が熱を出してしまい、クラスの人たちの積み上げたものが壊れてしまうのは絶対にやってはいけないという使命感があった。本番の日は、軽い気持ちでできると思っていたものの、おそらくクラスで一番足が震えていた。「あの時、自分がもっと声を出せば・・・」なんて結果にはしたくなかった。金賞発表まで仕事をして、その間も心臓がドキドキして少し痛かったくらいだった。イントロが流れてから自席に座るまで喜びをかみしめた。家に帰って改めてみんなが協力してくれたことと、先生の一言、その他多くのことにありがたみを感じた。来年も頑張って3連続金賞を獲りたい。